

●第178号(二〇一六年三月)

特集 ダブルケアとオープンイノベーション

1 座談会「女性の活躍とイノベーション」

天野馨南子、大嶋寧子、佐々木裕子、塚原月子、池戸淳子、長谷川孝

2 座談会「横浜はダブルケアにどう立ち向かうのか」

相馬直子、菊地加奈子、小林一美

〈コラム〉シングル女性の直面する「介護」―小園弥生

〈コラム〉多様な主体が関われるテーマとして「ダブルケア」に注目

林正隆

〈コラム〉大学が担うダブルケアとオープンイノベーション

小池星多

3 ダブルケアとは何か

相馬直子、山下順子

4 地域社会の視点からダブルケアについて考える

東恵子

〈コラム〉ダブルケア支援における地域交流コーディネーターの役割と課題

菊地真弓

〈コラム〉ダブルケア支援における子育てひろばの役割と課題

北原基子

〈コラム〉特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ たすけあい栄だからできること

知野朱美

〈コラム〉子育て支援の現場から見るダブルケア

伊藤保子

〈コラム〉ダブルケア支援における社会福祉協議会の役割

武田博美

〈コラム〉ダブルケア視点から多世代型地域包括ケアシステム構想を考える

小藪基司

5 座談会「ダブルケアと多様な働き方、テレワーク」

横澤昌典、小安美和、湯田健一郎、田島定尚

〈コラム〉多様な働き方の手段としてのテレワーク

横澤昌典

〈コラム〉社会や組織の未来を創る、新しい時代の働き方

田島定尚

〈コラム〉ダブルケアに対応しうる働き方変革

テレワーク活用推進に向けたパソナの取組

湯田健一郎、林真依

〈コラム〉「idou」で創る多様な働き方とテレワーク

小安美和

6 地域金融機関と共に進めるダブルケア(介護・子育て)

関連事業者支援プロジェクト

〈コラム〉横浜における新しい生活サービス産業の芽生え

「シェアリングエコノミー」が横浜にもたらすインパクトとは

田中多恵

〈コラム〉インターネットを利用した生活サービス産業におけるエキサイトの新サービス

家事支援を頼みたい人とサポートする人を直接マッチング「ファミリースポーター」

有澤真悠子

〈コラム〉ダブルケアと生活支援サービス産業

あつとほーむの取組から

小栗ショウコ

〈コラム〉コーポレート・フェローシップに参加して

村上文洋

7 横浜のオープンイノベーションのこれから

原田博一

長谷川孝

●第179号(二〇一七年二月)

特集 男女共同参画によって実現する女性活躍社会

日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市・横浜の実現に向けて

林文子

〈コラム〉横浜発で女性活躍の実現のスピードを上げよう!

村木厚子

1 女性活躍を進める各国の動向と日本の現状

①世界経済の視点で考える「女性活躍」の論点

「Women-20 (W20)」(2016年5月・西安) 参加レポートから

大崎麻子

②座談会・女性活躍によって目指す都市と社会の姿

江原由美子、菊嶋秀生、山下文江、田邊恵子、小賀野美子

2 横浜市におけるこれまでの女性の社会進出と男女共同参画の取組

①座談会・女性の社会的自立から男女共同参画に向けた取組

宮坂洋子、有馬真喜子、納米恵美子、常光明子

②インタビュー・女性が自由に呼吸できる街・横浜・開港から現代までの女性のまちづくり

嶋田昌子、常光明子、関口昌幸

③地域社会における女性活躍を考える

横浜郊外における主婦による地域活動の軌跡から

編集部

3 超高齢・人口減少社会における新しい働き方と地域経済の担い手としての女性

編集部

〈コラム〉女性委員会活動を通じた女性活躍推進への取組

内田直克

〈コラム〉女性活躍 私たちの場合

藤田香

〈コラム〉働き方改革などを通じた女性活躍推進の取組

「育児も仕事もやりたいこともかなえる」ハタ菜(働く)方法

甲田恵子

〈コラム〉女性が輝くカギは、お父さんの子育て文化

ワークライフバランスを目指すダッドウェイ

日丸邦彦

〈コラム〉「こまちカフェ」の実践を通じた働き方、創造的な場づくり

森祐美子

4 女性の暮らしを支えるセルフネットワーク

①困難を抱える女性への支援

自立支援の視点から

森兼亜紀子、八木慶子

②横浜における女性の就労支援の取組

1988-2016 自立支援の視点から

山本弘庫

5 男女が共に活躍できる都市・横浜を目指して

①座談会・若者が考える「男女が共に活躍できる都市」

横濱

上田麗美、関山愛華、野々村朋子、西川夏美、千葉つくみ

②座談会・子育て世代が考える「男女が共に活躍できる都市」

横濱

相原朋子、所田綾子、神野由紀子、河口綾乃

〈コラム〉調査季報179号から考えるこれからの「男女共同参画社会」

佐藤響子

編集後記

今回初めて調査季報を担当させていただきました。横浜市に入庁して最初の配属が「総務局災害対策室応援 国際防災の10年世界会議担当」という部署で、パシフィコ横浜で開催された第一回国連防災世界会議(WCNDR)の開催支援等を行い、防災にはその後も関心があったため、「震災に対する横浜の備え」というテーマで特集が組めたことには非常に感慨深いものがあります。

発刊にあたっては、危機管理室をはじめ多くの部署の方々にも多大なご協力をいただきました。原稿の執筆はもちろん、学識経験者をご紹介いただいたり、地域で活躍されている方々にお話を聞かせていただいたり、直接間接に力になってくださる方が大勢いてくださったからこそ完成させることができたと思います。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

調査季報の編集は、心躍る時間の連続でした。執筆いただいた原稿を最初に拝読するのも、いろいろな方からお話を聞かせていただくのも、他に代えることのできない貴重な経験でしたが、特に対談やインタビューでは深く感銘を受けた内容をどこまで文章にして伝えることができるのか悩ましく、試行錯誤を重ねました。

この調査季報で、「震災に対する横浜の備え」は公助のみではなく自助や共助があつてこそ、ということを改めて認識し、行動に繋げていただくことができ幸いです。(今井)

編集・発行

横浜市政策局政策課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1
TEL. 045-671-2028
FAX. 045-663-1225

2017年3月発行

印刷/亜細亜工業写真株式会社

500円(消費税込み)